



3月 ほけんだより

2021年度 No.12

聖星保育園

今年度も残りわずかとなりました。この1年を振り返り、一人ひとりが自分のペースで大きく、たくましく成長した姿をうれしく感じているこの頃です。

神奈川県では「まん延防止等重点措置期間」が3/6日までとされています。卒園、進級を控え、感染症対策を継続しつつ、1日1日を大切に、元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。



【3月の保健行事について】

・**歯科検診** 3月15日(火) 金子歯科医院 金子 Dr により実施予定



【2021年度の感染性疾患 2/21現在】～この1年間を振り返って～

昨年度は、感染症の診断が極端に少ない年度でしたが、今年度は、全国的にも自園でもRSウイルスや感染性胃腸炎の流行がみられました。また、新型コロナウイルス感染症で休園の際はご協力いただき、ありがとうございました。長期にわたって、各ご家庭での一人ひとりの行動や健康・体調管理、また保育園運営のご理解とご協力に感謝いたします。終息が待ち遠しいところではありますが、引き続きよろしく願いいたします。

ケガについて

遊びを通してケガから身を守る子どもへ こどもは、運動機能が未発達・全体のバランスが悪い視野が狭い・周囲に注意が働かない・危険の予知ができない(経験がない)…などの特性があります。好奇心が旺盛で、活発に遊ぶ中で、日常的にすり傷や打ち身などのケガもしています。すり傷・切り傷・打ち身などが殆どで、顔・頭・口や歯が多く、年齢が大きくなると足や手のケガが多くなっていきます。お友達との関わりの中で、引っかかれた、噛みつかれた、というものもみられます。出来る限り防いでいこうと、気を配っているのですが、怪我をなしにするというのは難しいことです。小さなケガをすることで、経験を通して自分で事故やケガを回避していく身のこなし方を自然に学んでいくことにもなりますので、大きなケガのないように、保育環境に配慮して対応をしていきたいと考えています。

耳

耳は音を聞いたり、体のバランス(平衡感覚)をとったりする大切な器官です。子どもの耳管(耳と鼻をつなぐ細い管)は太くて短く、耳から鼻にかけてほぼ水平のため、菌が中耳に入りやすく、中耳炎になりやすくなっています。一度中耳炎を起こすと再発しやすいので、鼻風邪をひいた時には早めに耳鼻科を受診しましょう。

- **急性中耳炎**：風邪などの感染症のあと耳管から菌が中耳に入り炎症を起こした状態です。激しい耳の痛み、発熱、一時的な難聴、閉塞感、耳だれ等の症状が出ます。
- **浸出性(しんしゅつせい)中耳炎**：中耳内に分泌液が溜まった状態。風邪や急性中耳炎の繰り返しが原因で起こります。痛みや熱はないのですが、耳が聞こえにくくなったり、閉塞感、耳鳴りがあったりします。
- **外耳炎**：耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿疹ができた状態です。湿疹ができると痒み、耳を触ると痛み、発熱や膿など。



《新型コロナウイルス関連》

神奈川県は3/6まで「まん延防止等重点措置期間」です

以下の場合、引き続きお知らせください

【在園児】

- ① 発熱等の症状が見られた場合
- ② 新型コロナウイルス感染症に関して、濃厚接触者に特定された場合
- ③ PCR検査・抗原検査等の新型コロナウイルス感染症に関する検査を受ける場合
- ④ ③の検査結果が判明した場合

【在園児の家族】

- ① PCR検査・抗原検査等で陽性の判定が出た場合

